株式会社　免疫生物研究所

東証グロース　証券コード：4570

2027年３月期（第45期）
第２四半期（中間期）決算説明資料

代表取締役社長　清藤　勉

2026年11月26日(木)

注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、当社経営陣が現時点において入手可能な情報によって判断したものであり、不確実である情報から得られた多くの仮定や考えによって作成されております。実際の成果は、さまざまな要素によって変化するため、業績見通し、開発見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。

実際の業績に影響を与える要素には、国内および国際的な経済情勢、業界ならびに市場の状況、金利および通貨為替の変動、新製品上市の遅延、導出先企業における開発の進捗の遅れ、技術的進歩、競合他社による特許の獲得、国内外の政府による法規制の変更などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

Contents

- 2027年３月期（第45期）第２四半期（中間期）連結決算概要
- 2027年３月期（第45期）連結業績予想（通期）

2027年３月期（第45期）
第２四半期（中間期）連結決算概要

2027年３月期（第45期）第２四半期（中間期）連結決算概要

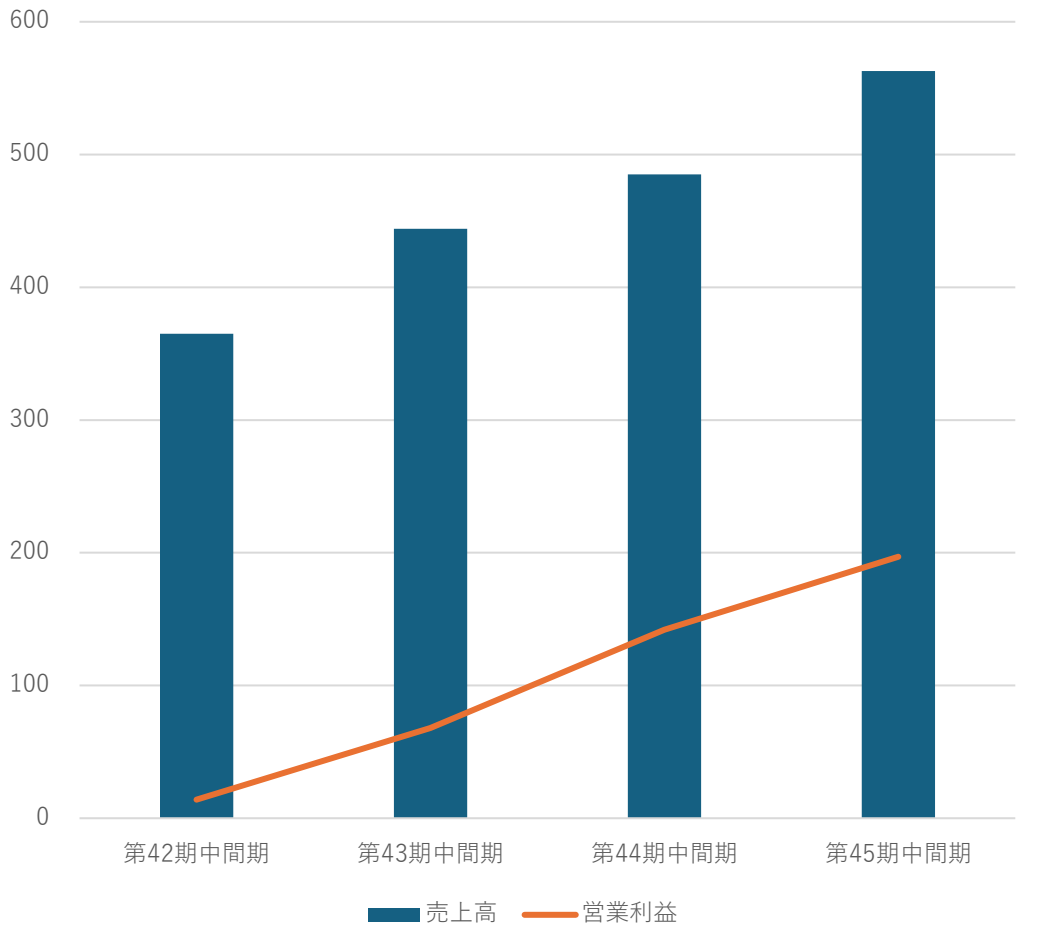
【連結業績】

単位：千円

	2026年３月期（44期）中間期	2027年３月期（45期）中間期	前期差（%）
売上高	485,489	563,168	+16.0
営業利益	142,124	197,477	+38.9
経常利益	149,842	206,867	+38.1
親会社株主に帰属する中間純利益	141,624	186,570	+31.7

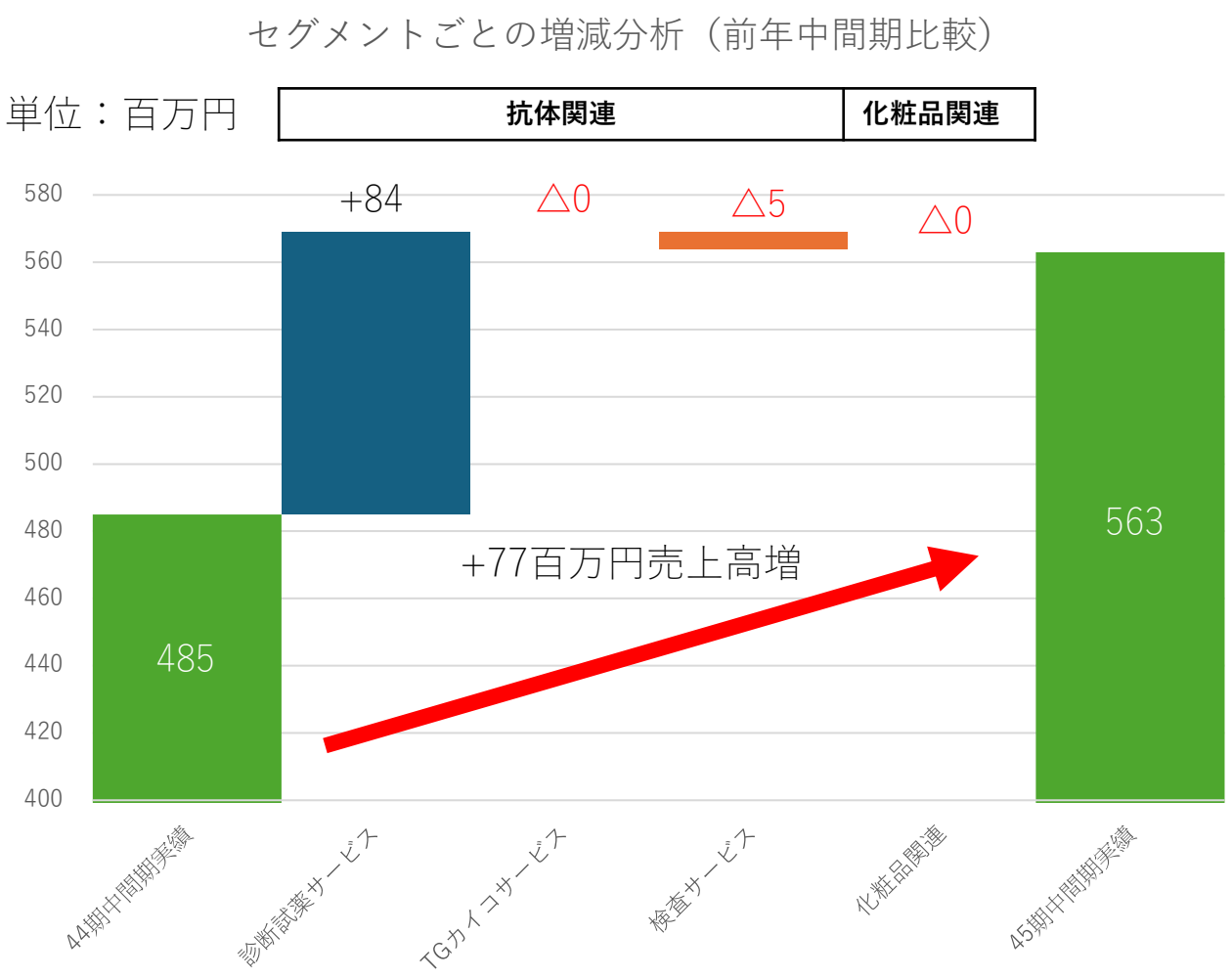
中間期ごとの業績推移

単位：百万円



2027年３月期（第45期）第２四半期（中間期）連結決算概要

【売上高増減】



○トピックス

【診断試薬サービス】

大手診断薬メーカーへのまとまった抗体販売や、ELISAの海外CRO企業における治験への継続採用、円安水準での推移などの影響により、前年同期比で20.2％の増加。

【TGカイコサービス】

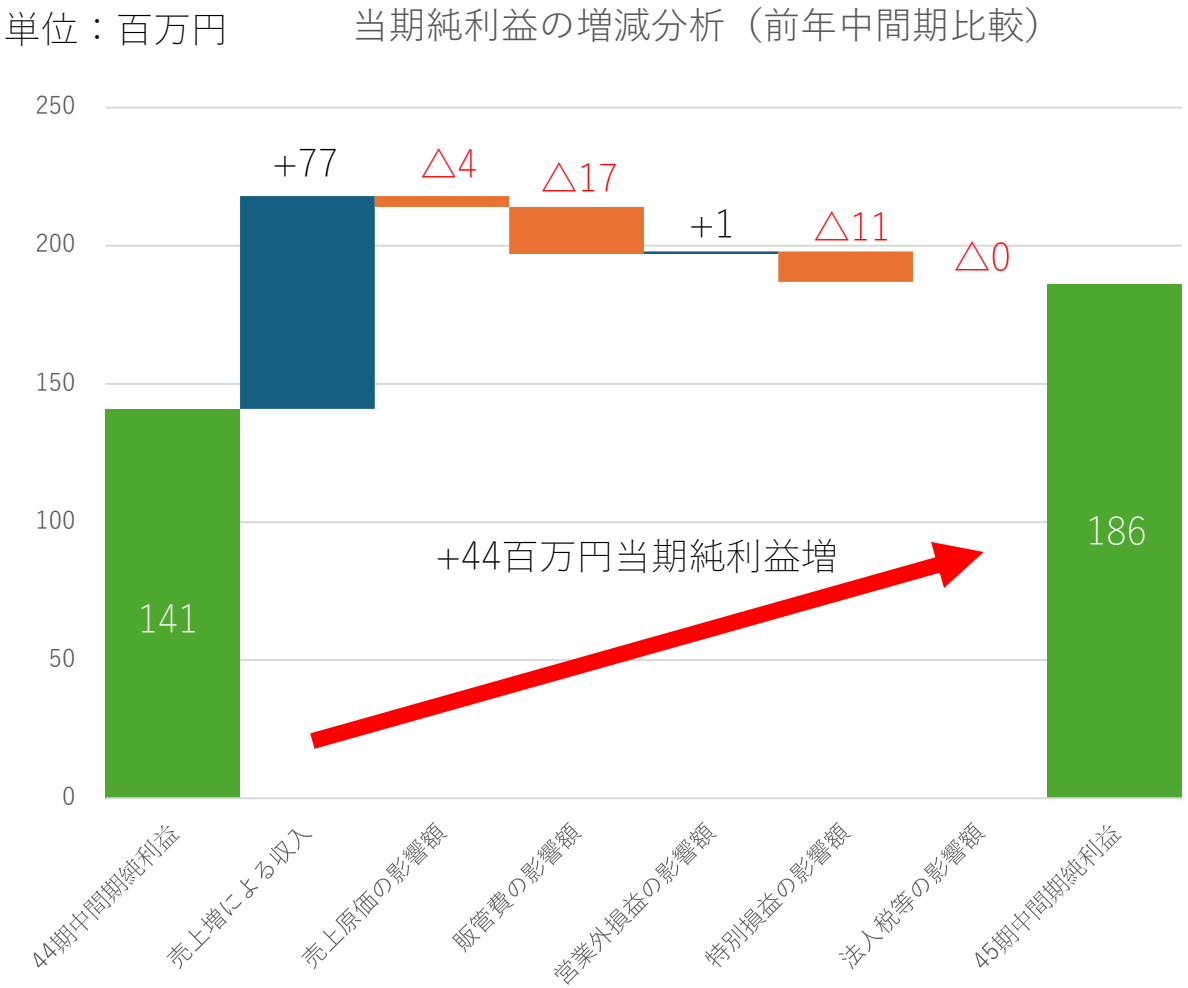
ラミニン511-E8やFibronectinの販売は増加したものの、ネオシルク®-ヒト型コラーゲンⅠの販売が減少し、前年同期比で1.8％の減少。

【検査サービス】

LipoSEARCH®や臨床検査サービスに関連するまとまった検査が減少し、前年同期比で31.3％の減少。

2027年３月期（第45期）第２四半期（中間期）連結決算概要

【当期純利益増減】



【営業損益】
売上高の増加に伴い売上総利益が増加し、収益性が向上したことにより、利益にプラスとなりました。前年同期（142,124千円の営業利益）比で、38.9％増加の197,477千円の営業利益。

【経常損益】
為替の急激な変動による影響で為替差損を計上しましたが、保険解約返戻金や補助金等収入が計上されたことにより、利益にプラスとなりました。前年同期（149,842千円の経常利益）比で、38.1％増加の206,867千円の経常利益。

【特別損益・法人税等】
投資有価証券評価損11,847千円および、法人税等調整額等の計上により、利益にマイナスとなりました。

【親会社株主に帰属する中間純損益】
以上より、前年同期（141,624千円の親会社株主に帰属する中間純利益）比で、31.7％増加の186,570千円の親会社株主に帰属する中間純利益となりました。

2027年３月期（第45期）第２四半期（中間期）連結決算概要

【連結貸借対照表の概要】　　単位：百万円

	2027年３月期中間期		
		構成比（%）	前期末比（%）
流動資産	1,620	70.9	**+3.2**
（現預金）	(987)	(43.2)	**△0.2**
固定資産	664	29.1	**+13.5**
資産合計	2,285	100.0	**+6.0**
流動負債	274	12.0	**△0.5**
（1年内返済予定の長期借入金）	(6)	(0.3)	**△62.9**
固定負債	36	1.6	**+2.3**
（長期借入金）	(16)	(0.7)	**△13.7**
負債合計	311	13.6	**△0.2**
純資産合計	1,974	86.4	**+7.1**
負債純資産合計	2,285	100.0	**+6.0**

【主要な資産の前期末差】
・棚卸資産　　54,654千円の増加
・投資有価証券　88,152千円の増加

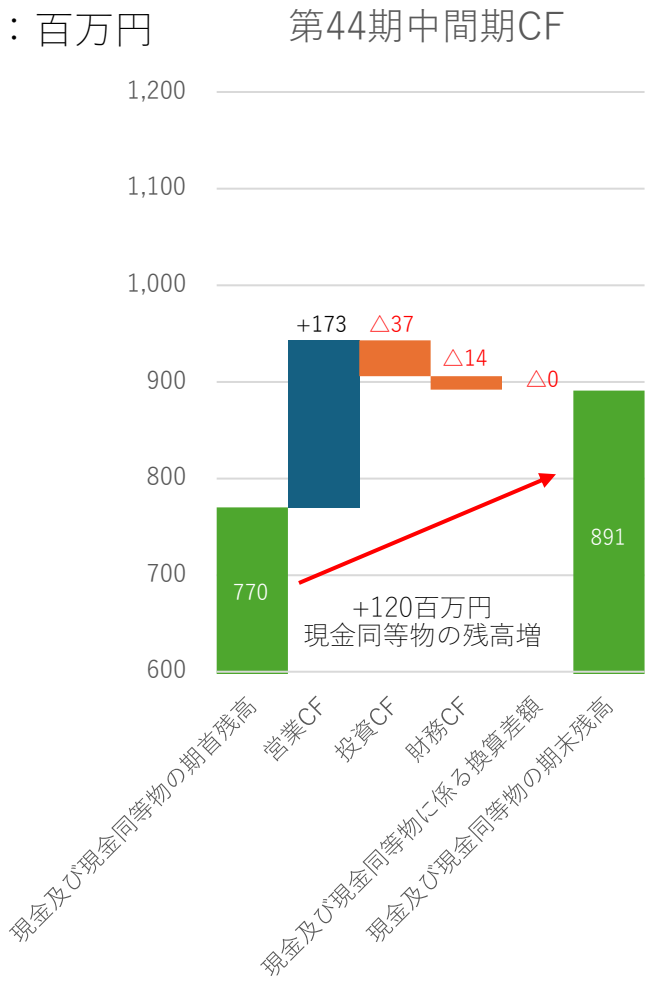
【主要な負債の前期末差】
・仕入債務　　6,260千円の増加
・短期借入金　　5,000千円の増加
・長期借入金　　12,893千円の減少
（1年内返済予定の長期借入金含む）

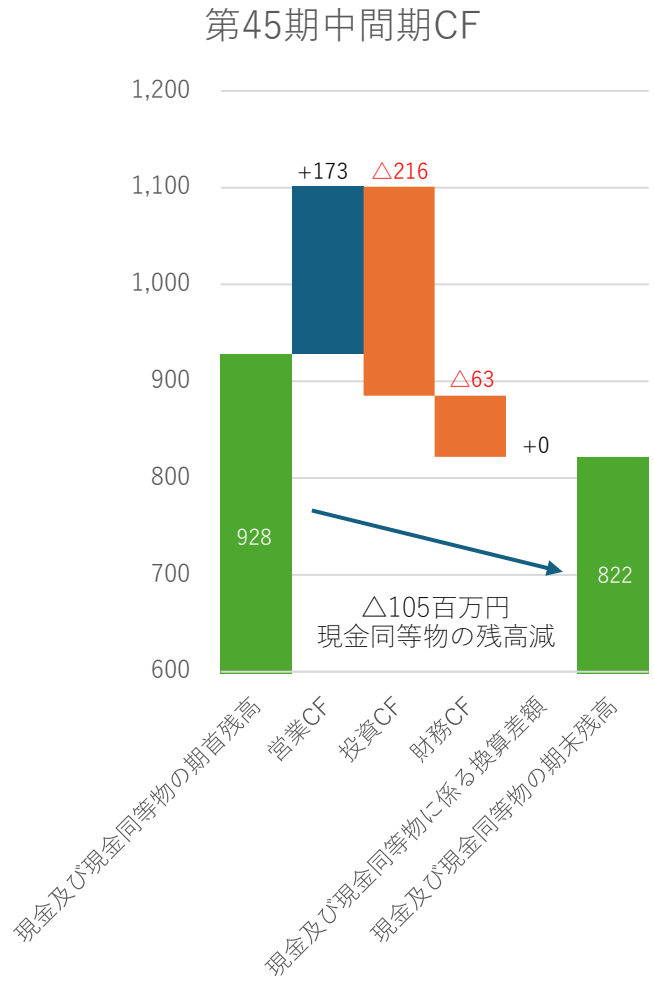
【主要な純資産の前期末差】
・利益剰余金の配当
55,880千円の減少
・繰越利益剰余金186,570千円の計上

2027年３月期（第45期）第２四半期（中間期）連結決算概要

【連結キャッシュ・フロー】

単位：百万円





【主要な営業活動による
キャッシュ・フローの要因】
・税金等調整前中間純利益+45,176千円
・棚卸資産の増加　+54,654千円

【主要な投資活動による
キャッシュ・フローの要因】
・定期預金等の預入による支出
△107,000千円
・投資有価証券の取得による支出
△100,000千円

【主要な財務活動による
キャッシュ・フローの要因】
・長期借入金の返済による支出
△12,893千円
・配当金の支払額　△55,322千円

2027年３月期（第45期）
連結業績予想（通期）

2027年３月期（第45期）連結業績予想（通期）

【連結業績予想】

単位：百万円

	2027年３月期（第45期）中間期実績	**2027年３月期（第45期）予想**	中間進捗率（%）
売上高	563	**1,087**	51.8
抗体関連事業	562	**1,082**	52.0
化粧品関連事業	1	**5**	20.6
営業利益	197	**322**	61.3
抗体関連事業	198	**322**	61.7
化粧品関連事業	△1	**0**	赤字
経常利益	206	**322**	64.2
親会社株主に帰属する当期純利益	186	**347**	53.8

中間進捗率は、2026年5月13日公表の連結業績予想（通期）の計画通りであるため、通期予想数値を据え置きとします。

今後もSNS等を活用した情報戦略や人材・施設面の効率的な運用を行い、営業利益の増加を目指してまいります。
さらに、安定した収益を生み出すため、優位性の高い抗体を開発し、体外診断用医薬品領域の製品化を進め、販売に注力してまいります。